

Ⅰ 学校教育目標 学び合い ちがいを力に ひらく未来										
Ⅱ 前年度に残された課題				Ⅲ 本年度の重点課題				Ⅳ 来年度に残された課題		
○いじめ対策の周知と居場所づくりの強化 いじめのない学校づくりについて「分からない」とする保護者が15％いることから、情報発信の充実が課題であり、今後は、学校だより・ホームページなど、多様な手段でいじめ防止の取組を周知する。 ○規範意識の向上 名札着用は向上した一方、廊下歩行の低下が課題である。全校で共通の生活目標を設定し、継続的に指導できる体制の強化が必要である。 ○主体的学習と学習習慣の確立 学習に関する肯定的回答が80％台にとどまっていることが課題である。朝学習の活用や個別最適な学習環境の整備を進め、主体的に学ぶ態度と学習習慣の定着を図る。				①主体的に学ぶ態度を育み、気づき、考え、行動できる力を伸ばす。 ②活動を楽しみ、心身の健やかな成長を支える。 ③たてわり活動などを通して、なかまを大切にし、共に生きる力を育む。 ④出前授業や体験活動を通して、地域資源を生かした学びを充実させる。 ⑤共に語り合い、創意工夫を重ねる教師集団を目指す。 ⑥あいさつを大切にし、自ら進んで行動する力を地域と共に育む。						
「1」 （重点課題番号） 評価項目	[2]具体的達成目標と評価指標		[3]自己評価		[4]外部アンケートの分析		[5]自己評価		[6]学校関係者評価	
	具体的に、何を、いつまでに、どの水準まで、数値化		中間評価		児童生徒アンケート		保護者アンケート		最終評価(成果と課題)	
	評価日 7月15日		実施日		実施日		実施日		評価日	
	公表日 10月17日		公表日		公表日		公表日		公表日	
	公表方法		公表方法		公表方法		公表方法		公表方法	
	□ ホームページ	□ ホームページ	□ ホームページ	□ ホームページ	□ ホームページ	□ ホームページ	□ ホームページ	□ ホームページ	□ ホームページ	□ ホームページ
	□ 文書配布	□ 文書配布	□ 文書配布	□ 文書配布	□ 文書配布	□ 文書配布	□ 文書配布	□ 文書配布	□ 文書配布	□ 文書配布
	□ 説明会実施	□ 説明会実施	□ 説明会実施	□ 説明会実施	□ 説明会実施	□ 説明会実施	□ 説明会実施	□ 説明会実施	□ 説明会実施	□ 説明会実施
	□ その他	□ その他	□ その他	□ その他	□ その他	□ その他	□ その他	□ その他	□ その他	□ その他
①	○ 個別最適な学びと協働的な学びを一体的に実現する授業改善を進め、児童が自ら考え、対話し、学びを深める授業を実践する。 ○ Myチャレンジタイムを定期的に実施し、児童が自分で内容や方法を考え、振り返りながら主体的に学ぶ力を育てる。 ◎ 「自分の意見や考えを進んで発表している」と、回答する児童の割合を85％以上にする。 ◎ 「わからないことを自分で調べたり、友達に聞いたりしている」と、回答する児童の割合を85％以上にする。		授業研究を通して複線型授業の実践を進めている。また、学級の実態に応じてMyチャレンジタイムを実施し、主体的な学びの充実を図っている。ScTN質問紙結果からは、自ら学びを進める意識(86％)、友達と関わりながら学んだりしていると感じている(97％)児童が多く見られた。 一方で、進んで発表することや、自ら学び方を工夫することには個人差があり、主体的に学ぶ力をさらに高める取組が課題である。							
②	○二小げんきプロジェクトを年間を通して組織的に実施する。 ○異学年交流による音楽活動を充実させ、自己表現や互いのよさを認め合う機会を増やす。 ◎ 「運動や外遊びが楽しい」と回答する児童の割合を90％以上にする。 ◎ 「みんなで歌ったり演奏したりすることが楽しい」と回答する児童の割合を90％以上にする。		二小げんきプロジェクトを年間を通して実施し、養護教諭による保健指導や毎週金曜日のスポーツタイムを通して、健康意識の向上や運動習慣の定着を図っている。また、全校朝の会でみんなで歌う活動を継続し、異学年交流を通して音楽に親しむ機会を充実させている。児童は運動や音楽活動に積極的に参加している。							
③	○二小タイム及びたんぼぼタイムを年間を通して計画的に実施し、異学年交流を充実させる。 ○ いじめ防止に関する取組を計画的に実施し、児童・保護者への周知と啓発を進める。 ◎ 「縦割り活動を通して、楽しく活動することが出来ている」と回答する児童の割合を90％以上にする。 ◎ 「学校はいじめのない学校づくりに取り組んでいる」と回答する保護者の割合を80％以上にする。		二小タイムを7回、たんぼぼタイムを4回実施し、異学年交流の充実を図っている。12月の発表に向けて、縦割り班ごとに協力しながら準備を進めており、学年を越えて関わり合う姿が見られる。また、いじめ防止に関する取組を見直し、学校だよりを通して保護者への周知・啓発を行った。							
④	○二小コミュニティ協議会と連携し、地域人材を活用した教育活動を計画的に実施する。 ○地域の特色を生かした地域学習を充実させる。 ◎ 「地域の方と関わりながら学ぶことができている」と回答する児童の割合を85％以上にする。		二小コミュニティ協議会と連携し、地域の方々との協力を得ながら、各学年が引率や学習補助、読み聞かせなどを実施した。また、クリーンデイでは環境整備にも協力いただいている。今後も計画的に実施していく予定をしている。							
⑤	○ミニ研修を月3回実施し、教職員の学び合いを推進する。 ○ノー残業デーを毎週金曜日に設定し、働き方改革を推進する。 ◎ 「互いに学び合いながら授業改善や教育活動に取り組んでいる」と回答する職員の割合を80％以上にする。 ◎ 「働きやすい職場環境である」と回答する職員の割合を80％以上にする。		毎週木曜日をミニ研修の日設定し、二小タイム等について話し合う機会を設けている。また、毎週金曜日をノー残業デーとし、教頭による掲示等を通して意識啓発を行っている。しかし、業務の都合上、全員が実施できている状況には至っていない。							
⑥	○職員が毎朝昇降口であいさつを行うとともに、地域と連携したあいさつ運動を推進し、温かな学校づくりを進める。 ○全校朝の会や学級での指導等を活用して月めあてや学校生活のきまりを継続的に指導し、規範意識の向上を図る。 ◎ 「進んであいさつができている」と回答する児童の割合を90％以上にする。 ◎ 「二小のきまりを守っている」と回答する児童の割合を85％以上にする。		校長・教務主任が毎朝昇降口であいさつを行うとともに、地域とも連携してあいさつ運動を実施している。進んであいさつをする姿には課題があり、継続した取組が必要である。 規範意識について、生活指導担当教員を中心に、学級担任と連携して継続的に指導している。名札の未着用や廊下を走る姿も見られ、規範意識の向上に向けた継続的な指導が必要である。							